

第5章 地域保健

第1節 母子保健

1 母子保健

母親のストレスや育児不安の軽減、子どもの健やかな成長を促すことを目的に心身障害及びその疑いのある乳幼児に対して専門医や保健師等による相談を実施している。

主に精神発達面について指導助言する「幼児精神発達相談」や未熟児養育医療給付時の面接相談、未熟児、多胎児等の訪問指導を実施した。

また、平成15年度から「母親のメンタルヘル

ス支援事業」の一環として、EPDS（エジンバラ産後うつ病質問票）を実施し、産科医療機関等と連携を図り妊産婦への心のケアを実施している。

他に管内産科・精神科医療機関職員や助産院職員、管内市町の母子保健事業に従事する職員を対象に妊産婦のメンタルヘルスに関する講演会等を開催した。

(1) 相談・訪問指導実施状況

表1 対象別相談訪問指導状況

平成24年度(単位：人)

区分	総数		妊産婦		新生児		未熟児		乳児 (新生児・未熟児を除く)		幼児		その他 (学童以上)		
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	
相談	来所	359	866	90	266	11	28	69	138	47	136	48	106	94	192
	電話	-	3,289	-	1,672	-	230	-	718	-	346	-	107	-	216
訪問指導		277	459	132	224	27	44	65	92	43	72	7	21	3	6

(2) 母親のメンタルヘルス支援事業

表2-1 産後1ヶ月健診でのEPDS実施状況(参考：市町実施分)

平成24年度

	受診者数	EPDS実施数	EPDS実施率 (%)	EPDS9点以上 者数	EPDS9点以上者数 の割合(%)
小松市	877	877	100.0	66	7.5
加賀市	449	449	100.0	37	8.2
能美市	412	412	100.0	40	9.7
川北町	72	72	100.0	5	6.9
計	1810	1810	100.0	148	8.2

表 2-2 母親のメンタルヘルス支援事業連絡会及び研修会

開催日	講師・助言者	内 容	参集機関(者)等
H24.10.9(火) 13:30~15:00	石川県立看護大学 米田 昌代 氏	講義「妊娠期・周産期におけるグリーン ケアについて」 意見交換 「各機関における取り組み及び課題に ついて」	管内産科医療機関、市町母子 保健担当者、助産師会、保健 福祉センター 計 21名

(3) 幼児精神発達相談事業

表 3-1 幼児精神発達相談実施状況

平成 24 年度

目 的	幼児期において重要な精神発達状況を把握し、適切な指導助言を行い、健全な発育発達を促すと共に保護者が精神的にも安心して子育てができるように支援する。
回 数	年 15 回
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師の問診 ・心理判定員による判定(新版K式発達検査) ・小児科医師による診察 ・保健指導 ・総合評価(支援方針の決定)

表 3-2 幼児精神発達相談来所者状況

平成 24 年度(単位:人)

実 人 員	19
延 人 員	20
1人平均来所回数	1.1
性別	
男	14 (70.0)
女	6 (30.0)
結果	
異常なし	3 (15.0)
異常あり	17 (85.0)
来所時年齢	
1~2歳未満	0 (0.0)
2~3歳未満	0 (0.0)
3~4歳未満	7 (35.0)
4~5歳未満	5 (25.0)
5~6歳未満	7 (35.0)
6~7歳未満	1 (5.0)

()内は構成割合%

表 3-3 来所動機

平成 24 年度(単位:人)

各種健康診査結果 市町保健師より	17 (85.0)
保 護 者 よ り	2 (10.0)
医 療 機 関 よ り	0 (0.0)
そ の 他	1 (5.0)
計	20 (100.0)

()内は構成割合%

表 3-4 異常の内訳

平成 24 年度(単位:人)

言語発達遅滞	3 (17.6)
精神発達遅滞	9 (52.9)
自 閉 症	4 (23.5)
高機能広汎性発達障害	0 (0.0)
知的障害	0 (0.0)
そ の 他	1 (6.0)
計	17 (100.0)

()内は構成割合%

(4) 健やか妊娠育児支援強化事業

ア 目的

多胎妊婦や若年妊婦等は、妊娠中の健康管理のみならず、出産後の育児においても困難が伴いやすい。

そこで、これらの妊婦に対し、医療機関、市町、保健福祉センターの連携により、育児不安の軽減と子どもの健やかな成長を促すことを目

的とする。

イ 対象者

a 多胎、若年、未婚の妊婦及び身体的、精神的疾患を抱える妊婦、その他妊娠や育児に身体的精神的困難が予測される妊婦とその家族。

- b 未熟児養育医療給付申請書及び低体重児出生届または人口動態出生票より把握し、事業実施にあたって、保護者の承諾を得た児及びその保護者。

(助産師による訪問)

- d すこやかすくすく教室の開催
(未熟児等)

- e 赤ちゃん体操教室の開催

- f 育児サークルの支援

- g 乳幼児の聴覚に関する研修会

ウ 事業内容

- a ハイリスク妊娠等支援事業

- b 未熟児・多胎児等育児支援事業

- c 未熟児等母乳哺育支援事業

エ 実施状況(表4～8)

表4 ハイリスク妊産婦保健医療連携事業実施状況(妊娠週数別・紹介経路別) 平成24年度(単位:件)

	20週未満	20～23週	24～27週	28～31週	32～35週	36週～	産後	計
市 町	0	1	0	0	0	0	5	6
医療機関	2	1	2	0	1	0	113	119
その他	0	1	0	0	0	0	1	2
計	2	3	2	0	1	0	119	127

表5 未熟児・多胎児等保健医療連携強化事業実施状況(出生体重別・医療機関別) 平成24年度(単位:件)

区 分	1.0kg未満	1.0～1.4kg	1.5～1.9kg	2.0～2.4kg	2.5kg以上	総数
石川県立中央病院	5	7	10	8	6	36
金沢大学医学部附属病院	2	1	3	2	3	11
金沢医療センター	0	1	2	3	1	7
金沢医科大学病院	0	0	0	0	0	0
恵愛病院	0	0	1	4	1	6
山中温泉医療センター	0	0	0	2	0	2
富山大学附属病院	0	0	0	1	0	1
福井県立病院	0	1	2	0	1	4
福井大学附属病院	1	2	0	1	1	5
計	8	12	18	21	13	72

表6 未熟児等母乳哺育支援事業実施状況(リスク要因別) 平成24年度

	実人員	実施回数
未熟児	25	43
多胎児	6	8
ハイリスク産婦	43	79
その他	9	18
計	83	148

表7 すこやかすくすく教室実施状況

【未熟児編】				平成24年度
開催日	会場	実施内容	参加者	
1	H24. 6. 7	南加賀保健福祉センター 講話・実技「産後のお母さんのからだと健康」 講師 ゆたか助産院 助産師 吉田 みち代 氏	保護者 児	4名 6名
2	H24. 7. 13	同上 講話「小さく生まれた子どもの発達」 講師 金沢大学附属病院 小児科医師 黒田 文人 氏	保護者 児	19名 23名
3	H24. 8. 10	同上 講話・実技「発達を促すための運動」 講師 石川県立中央病院 理学療法士 守山 知子 氏	保護者 児	20名 22名
4	H24. 9. 14	同上 講話・試食「離乳食のすすめ方」 講師 石川県南加賀保健福祉センター 管理栄養士 安井 典子	保護者 児	15名 20名
5	H24. 10. 12	同上 講話・実技「親と子のスキンシップ」 講師 助産院ママのおうち 助産師 浜辺 千賀子 氏	保護者 児	17名 21名

【多胎児編】				平成24年度
開催日	会場	実施内容	参加者	
1	H24. 5. 11	南加賀保健福祉センター 講話 「多胎の母胎管理と多胎児の育児について」 講師 すみれ助産院 助産師 山岸 和美 氏	保護者 児	13名 22名
2	H24. 11. 9	ふくふく広場まんま (旧加賀市南郷保育園)	妊婦	1名

*毎回、希望者には個別相談、身体計測実施

「すくすく親の会」育成支援状況

親の会は、既存の市町の育児サークル等を紹介し、参加者同士交流が図られるよう対応した。また多胎育児ネットや多胎児の育児サークルが

実施した講演会や交流会に参加し、会の育成に向け支援した。

「赤ちゃん体操教室」実施状況

平成23年からダウン症児の出生が、例年より大幅に増加したため、出生が多かった加賀地域センターを会場に教室を開催した。その後、小松・能美地区においても、出生が続いたため、平成23

年10月から、南加賀保健福祉センターにおいて開催し、2会場で開催することにした。赤ちゃん体操プログラムは、一人歩きができるまでを目標としている。

表8 赤ちゃん体操教室実施状況 平成24年度

開催日	会場	実施内容	参加者
原則 第3火曜日 13:30~ 15:30 年12回	南加賀保健福祉センター	赤ちゃん体操の指導及び保護者の交流会 交流テーマ ・兄弟姉妹への関わり方 ・保育園入園 ・眼科、耳鼻科、歯科、口腔外科の受診	実人員 ・保護者 6組 ・児 5名 延人員 ・保護者 40名

		<ul style="list-style-type: none"> 療育手帳の申請及び手帳のメリット ダウン症聞くまっしシステム委員会、なないろビーンズの活動について（情報提供） 	<ul style="list-style-type: none"> 児 36名
原則 第2火曜日 13:30～ 15:30 年12回	南加賀保健福祉センター 加賀地域センター	赤ちゃん体操の指導及び保護者の交流会 交流テーマ <ul style="list-style-type: none"> 療育手帳の取得、申請、活用方法 特別児童扶養手当の申請、「ダウン症児ハンドブック」の活用方法 加賀市幼児教育相談室保護者学習会の報告 医療機関での療育について（情報提供） なないろビーンズ、ダウン症聞くまっしシステムの活動について（情報提供） 「親子スイミング」の開催、プールの利用条件について（情報提供） 保育園での保護者との関わり、障害の受け止めについて 来年度の予定について 	実人員 <ul style="list-style-type: none"> 保護者 7組 児 7名 関係機関 4機関 延人員 <ul style="list-style-type: none"> 保護者 48名 児 47名 関係機関 14名

表9 乳幼児の聴覚に関する研修会

平成24年度

開催日	講師・助言者	内 容	参集機関（者）等
H24.7.18（水） 15:00～16:00	金沢大学 人間社会環境学 准教授 武居 渡 氏	講 義 「乳幼児の聴覚の理解と対応 ～聴覚検査の在り方～」 質疑応答	管内市町母子保健担当者 保健福祉センター 計 14名

(5) 母子保健支援事例検討会

ア 目的

母親の育児不安や産後うつ病等の状況を早期に捉えて支援するとともに、妊産婦の心のケアが実施できる体制を整備するために、月1回程

度、管内市町と今後の支援方法等について検討会を開催する。

イ 実施状況（表10）

表10 各市町における検討会開催状況

平成24年度

市町名	開催回数	参加者（延人員）			
		保健所保健師	市町保健師等	市町福祉課・児童家庭課等	その他
小松市	11	21	64	16	19
加賀市	12	13	43	19	82
能美市	11	20	64	21	0
川北町	12	13	13	-	1

(6) 親支援のためのグループケアモデル事業

ア 目的

虐待あるいは虐待に陥る可能性のあること

で悩む親に対し、個別ケアと併せてグループワーク手法を取り入れたケアを行うことに

より、親自身の心理的病理の回復を促し、虐待の未然防止を図る。

イ 対象者

強い育児不安や育児困難を感じ、虐待傾向を認識している母親で、家庭や地域で孤立し精神的ケアを必要とする母親。

ウ 実施内容 (表 1 1)

表 1 1 グループケア実施状況 平成 24 年度

開催回数	参加者	
	親	子ども
1 2 回 (月 1 回)	実 4 人 延 8 人	実 4 人 延 8 人

(7) 母子保健事業検討会

ア 目的

妊娠早期から出産後の育児期まで一貫して関わっている管内市町の母子保健担当者が管内の状況、課題について把握し検討するこ

とで、管内の母子保健事業の強化及び充実を図る。

イ 実施内容 (表 1 2)

表 1 2 母子保健担当者連絡会実施状況

平成 24 年度

開催日	会場	実施内容	参加者
H24. 10. 9 (火) 15:00～ 16:30	南加賀保健福祉センター	1 未熟児の訪問指導等の市町への権限移譲について 2 ハイリスク妊産婦に対する保健医療連携について 3 精神科医療との連携による子育て支援モデル事業について	管内産科医療機関、市町母子保健担当者、助産師会、保健福祉センター 計 21 名

表 1 3 未熟児支援研修会実施状況

平成 24 年度

開催日	講師	内容	参加者
H24. 7. 13 (金) 15:30～16:30	金沢大学医薬保健研究域医学系 小児科医師 黒田 文人 氏	講義 「小さく生まれた子どもの発達について」 質疑応答	管内市町母子保健担当者 計 8 名
H24. 8. 10 (金) 15:30～16:30	石川県立中央病院 リハビリテーション部 理学療法士 守山 知子 氏	講義 「未熟児 (低体重児) の発育発達とその支援について」 質疑応答	管内市町母子保健担当者 計 5 名

(8) 子どもの心のケアネットワーク事業

ア 目的

ひきこもりや小児うつ、摂食障害、発達障害などの様々な子どもの心の問題について、管内における医療・保健・教育・福祉関係者が連携したネットワーク包括体制を構築する。

イ 対象者

発達障害児 (者) への診断や療育及び支援に関わ

っている管内の関係機関職員

ウ 実施内容 (表 1 4)

子どもの心のケアに関する学習会・事例検討会

表 1 4 子どもの心のケアネットワーク学習会等実施状況

平成 24 年度

事業内訳	開催日	内 容	参集機関 (者) 等
学習会	隔月第 3 金曜 H24. 6. 15 H24. 8. 17 H24. 10. 19 H24. 12. 21 H25. 2. 15 13:30～15:30	ミニ学習会 ・性 (器) に関すること (夜尿、性器いじり) ・こだわり、チック、強迫性障害 ・キレると落ち込み ・いじめ ・虐待 インシデント・プロセス法による事例検討	保育所、幼稚園、つどいの広場、 相談機関、管内市町児童福祉、 障害福祉、母子保健担当課 教育センター、小・中学校、特 別支援学校、医療機関、発達障 害支援センター、児童相談所、 保健福祉センター 延 223 名

(9) 精神科医療との連携による子育て支援モデル事業

ア 目的

うつ病等精神疾患の治療を受けながら子育てして
いる保護者に対し、地域保健福祉関係者が連携して
支援するため、連携の必要性や課題等について関係
者間で共通理解を図り、今後の連携を推進・強化す
ることで、保護者の育児不安及び育児負担の軽減を
図り、親と子どもの健やかな成長を促すことを目的

とする。

イ 対象者

妊産婦の医療・保健等に関わる機会のある医療保健関係
者 (医師、助産師、看護師および保健師等)

ウ 実施内容 (表 1 5、1 6)

精神科医療機関との連携体制構築のための研修会の開催
個別支援事例検討会の開催

表 1 5 精神科医療機関との連携体制構築のための検討会実施状況

平成 24 年度

開催日時	会 場	実 施 内 容	参 加 者
H24. 9. 14 (金) 19:00～21:00	南加賀保健福祉センター	連絡会 精神科医療機関、地域の妊産婦支援の現状 報告と課題について意見交換 研修会 講演 「児童虐待防止と個人情報保護」 講師 丸の内法律事務所 弁護士 若杉 幸平 氏	精神科医療機関 保健福祉センター 計 1 4 名
H25. 1. 18 (金) 13:30～15:30	同 上	報告 南加賀保健福祉センターにおける精神科 医療との連携の取り組み状況について 研修会 講演 「児童虐待防止と個人情報保護」 講師 丸の内法律事務所 弁護士 若杉 幸平 氏	精神科医療機関 産科医療機関 石川県助産師会 市町母子保健、児 童福祉担当課 保健福祉センター 計 2 2 名
H25. 1. 31 (木) 13:30～15:00	同 上	事例検討 「摂食障害を持つ母子への支援」 レクチャー 児童虐待事例における精神科医療との連 携の意義 講師 とよたまこころの診療所 医師 鷺山 拓男 氏	市町母子保健、児 童福祉担当課 保健福祉センター 計 1 7 名

表 1 6 個別支援事例検討会実施状況

平成 24 年度

開催日時	会 場	実 施 内 容	参 加 者
H24. 5. 21 (月) 19:00～21:00	南加賀保健福祉センター	関係機関による情報共有及び処遇検討 ～本人支援と保護者支援について～	精神科医療機関 小児科医療機関 小学校、児童相談所、 保健福祉センター 計 13 名

2 小児慢性特定疾患相談・訪問状況

表 1 7 小児慢性特定疾患別相談指導人員

ア 目 的

小児慢性特定疾患患児及びその家族の適切な在宅療養生活の確保のため医療機関や市町、教育委員など関係機関と連携を密にするため相談等を実施する。

イ 相談状況 (表 1 7)

小児慢性特定疾患医療費公費負担申請時にできる限り保健師による面接を行い、状況を把握し、病気や療養生活についての相談に応じている。また、相談希望者で申請時に保健師が対応できなかった方に関しては、電話や訪問等で対応した。

区 分	実人員	延人員
悪 性 新 生 物	3	4
慢 性 腎 疾 患	3	1 1
慢 性 呼 吸 器 疾 患	1	1
慢 性 消 化 器 疾 患	1	1
慢 性 心 疾 患	1	1
内 分 泌 疾 患	2	4
糖 尿 病	1	1
先 天 性 代 謝 異 常	3	5
血 友 病 等 血 液 ・ 免 疫 疾 患	1	7
神 経 ・ 筋 疾 患	2	1 0
膠 原 病	1	1
計	1 9	4 6